
静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校
ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校を卒業する人材は、英語を中心とした外国語教育とマナー教育をベースに、航空・観光・国際ビジネス業界などにおける、様々な接客サービスに関する専門知識や技能とプロ意識を持った人材育成が教育目標であり、学科コースごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門職種に直結した知識・技能の習得と資格取得
- グローバル化社会に対応した、聞いて理解でき、話せる実践語学力
- 全ての仕事に通じるホスピタリティマインド（おもてなしの心）

国際エアライン科 エアラインコース
ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

航空機という特殊な環境下での業務は体力、精神力共に強靱であることが求められる。また訪日客の増加に伴い LCC などの航空会社の新設、既存航空会社の路線の拡大が続き、高い語学力と日本のおもてなしを提供できる人材が求められている。客室乗務員として活躍するために必要な強い精神力に基づく対応力と世界水準のサービススキルを身に付けることを卒業の条件としている。

- 強い精神力と多様な価値観を認める人間性
安全の為に常に五感を研ぎ澄ませ、360 度見られていることも苦にならない強い精神力を維持することができる。
お客様はもちろん共に働く仲間も多国籍であり、その価値観を認め尊重できるオープンマインドな考え方を身につけることができる。
- 語学力と表現力の習得
客室乗務員採用試験に必須とされる英語資格の取得はもちろん、外国人旅客やクルーとのスムーズな会話ができる英語力を習得する。また、豊富な語彙力に基づいた豊かな日本語表現ができる。
- 日本のおもてなしを体現する力を身につける。
機内という限られた場所で世界中が日本に期待する「おもてなし」を提供できる発想力を持ち、行動に移すことができる。

国際エアライン科 グランドスタッフコース
ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

主要空港の発着枠の増加、地方空港への国際線の乗り入れが進み、旅客数や貨物量が伸びる一方で自動チェックイン機や自動荷物預かり機の導入が進み、空港業務の省人化も推進されている。そのため通常業務は機械化され、イレギュラー時の対応力や機械には真似のできない細やかな心配りがグランドスタッフに求められる。知識に裏付けされた臨機応変な接客スキルを身に付け、心配りができるグランドスタッフとして活躍するための知識と技術の習得を卒業条件としている。

●航空知識、専門用語の習得

チェックインカウンター、搭乗ゲート、ランプエリアなどグランドスタッフの業務は多岐に渡る。どの業務においても必須とされる航空知識、専門用語を使いこなすことができる。

●専門英語の習得

TIM（Travel Information Manual）を速読しお客様に必要なご案内ができる。

●イレギュラー対応とスペシャル対応のスキルの習得

素早く、最善の判断と対応ができ、お手伝いが必要なお客様にタイミングよく自然なサービスが提供できる。

観光・ホテルブライダル科 観光ビジネスコース
ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

かつて大都市への一極集中であった観光客も今は地方都市へと広がり、かつては観光地巡りが主流であったが、今では地域の特性を活かした「体験」がキーワードとなっている。そのような変化の中、観光ビジネスコースは「旅のスペシャリストへ」をキーワードに、静岡にとどまらず国内外の魅力をも発信できる人材の育成を目標としている。「旅行業務取扱管理者（国内・総合）」の取得による知識を基本とし、国内研修のプランニング・実施や海外研修における添乗業務などの実践的な授業を通し、観光業界において即戦力となる企画・提案力と接客対応力の習得を卒業の条件としている。

●お客様により高い満足感を与えるための接客対応力の習得

カウンター業務で実際に起こり得る事例をもとにしたロールプレイなどを取り入れることにより、接客対応に必要な社会常識やビジネスマナー、コミュニケーション力だ

けでなく、問題解決力や心配りをも身に付け、お客様に対しきめ細やかなサービスを提供できる。

●お客様の不安を安心にするための国内・海外の旅行に関する知識の習得

旅行業界へのパスポートとも称される「旅行業務取扱管理者（国内・総合）」の学習を通し、国内外の観光や地理などの基礎知識を徹底的に学習する。それにより、お客様に対して正確で的確な情報を提供し、様々な不安を解消、安心のサービスを提供することができる。

●お客様に信頼をしていただくための業務スキルの習得

実務経験豊富な教員によるプランニング実習や添乗業務実習など実践的な授業を通し、基本的な業務から様々なイレギュラーを想定した企画・提案をすることができる。また、旅行会社との連携授業により、今現場に必要なスキルを習得し、お客様からの信頼を得ることができる。

観光・ホテルブライダル科 ホテル・ブライダルコース
ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

訪日客の増加に合わせ、ホテルは増え続けている一方で、ホテルやブライダルの仕事に対し情熱を持って取り組む、若い人材は減少傾向にある。そのため、長期的に業界で活躍することができる人材を育成することは、業界としても喫緊の課題となっている。ホテル・ブライダルコースでは、この課題解決の糸口として「プロフェッショナルとしてのマインド育成」を教育の軸に、情熱を持って業務に取り組むことができる人材の育成を目標としている。そのうえで、ホテル・ブライダル業界について基礎から学習をスタートし、現場で生きる知識とスキルをバランスよく学び、ホテルスタッフやブライダルスタッフ、そしてサービスのプロフェッショナルとしての実力を付け、業界で活躍するためのマインド・知識・スキルの習得を卒業の条件としている。

●マインドの育成

現場経験豊かな教員陣のエピソードや事例などリアリティを大切にした授業を通し、自身が働いていることをイメージさせることで、業務の大変さとやりがいを伝えていく。また、学生一人ひとりとの関わりや面談を最重要項目とすることで、学生はプロフェッショナルとしてのこだわりや視点を養い、最も大切なマインドを育むことができる。

●知識の習得

ホテル・ブライダル業界の成り立ちや職種などの基本知識から始まり、マネジメントやプロトコール（国際儀礼）などの応用知識まで、体系的に学ぶことで業界全体・宿泊・料飲・宴会・ブライダルなど幅広い知識を習得することができる。

●スキルの習得

テーブルセッティングや料飲サービス技術、ゲストエスコートなどの基本スキルから、オーダーテイクや日本語・英語でのご案内などの応用まで、実技・ロールプレイングを取り入れた学習を通し、現場ですぐに実践できるスキルを習得することができる。

国際コミュニケーション科 ランゲージコース

ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

近年、訪日観光客の急激な増加に伴い、高い語学力を有する英語話者人口の増強は依然大きな課題として打開できずにいる。そこでランゲージコースでは「受験のため」「テストのため」の英語学習から、「想いを伝えるため」の話し手の人格を映し出す英語の習得を教育の柱に、世界を舞台にコミュニケーション力を発揮出来る人材の育成を目標とする。語彙や会話表現に挙げられる「英語知識の育成」、学びを発揮する場の提供を通じた「発話意識の育成」、他者と関わる上で不可欠となる「異文化理解の育成」というグローバル人材として活躍する上で必須である3つの視点から得る学びの習得を卒業の条件としている。

●英語知識の育成

国際ビジネスの場に於いて求められる基本から応用まで実践的な語彙、表現習得を効率的に習得するため、TOEIC® Listening & Reading Test、TOEIC® Speaking Testを学習ツールとして活用し、体系的に学ぶことで英語運用能力の素地育成ができる。

●発話意識の育成

実務経験のあるネイティブスピーカー教員による授業をはじめとし、ITを活用したオンライン英会話学習や、外部との英語を活用した交流、また海外語学留学を実施する。学びをアウトプットする機会を積極的に創成することを通じて発話に対する前向きな意識を育み、自分で考え、自分の言葉で母国語以外の言語を用い語ることができる。

●異文化理解の育成

世界の様々な動きや現在直面している国際問題、出来事を研究するとともに各国の生活習慣や食、宗教など文化の潮流・傾向を多角的に学ぶ。このことから異文化に対する理解を深めると同時に、自国に対する興味関心を高め多角的な視野を養うことができる。

国際コミュニケーション科 コンシェルジュコース

ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

日本が世界に誇るホスピタリティを、具体的に案内や提案に活かし接客を行うコンシェルジュは、新しくその地位を確立し国内外からも注目される職業の一つとして挙げられる。コンシェルジュコースでは、接客の第一歩としての第一印象を磨き、一人ひとりの魅力を引き出すことでセルフブランディングを確立し、自分自身が持つ気づきの感度の醸成を通じて、おもてなしのスペシャリスト育成を目標とする。語彙や会話表現に挙げられる「実践力育成」、学びを発揮する場の提供を通じた「マインド育成」、他者と関わる上で不可欠となる「提案力育成」というコンシェルジュとして活躍する上で必須である、3つの視点から得る学びの習得を卒業の条件としている。

●実践力育成

様々な商業施設において、コンシェルジュの人材養成に携わるコンシェルジュ専門企業との教育連携により、実際の業務に即した実践的な授業を行う。コンシェルジュとしての基本的な役割の理解や知識を学び、様々な接客場面を想定したロールプレイング形式の授業を通じコンシェルジュとしての素地育成ができる。

●マインド力育成

好感を持たれる第一印象を育むため、心からの笑顔づくりから始め、一人ひとりの感性とホスピタリティマインドを養い、お客様と共に喜びを分かち合うことのできる「アサーティブ・コミュニケーション力」を演習から学ぶ。また、日本の伝統文化を通じて世界に誇る日本のマナー・おもてなしと、そこに息づく「こころ」への理解を深めることができる。

●提案力育成

お客様が求める千差万別のご要望に応えるだけでなく、それぞれに合わせたご案内を提供することがコンシェルジュとしての重要な役割である。そのため状況に応じた情報を収集し整理する能力と、それらを瞬時に伝えることのできる提案力を習得できる。

国際交流科

ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

グローバル化した現代社会において、国内外で国籍を問わず活躍できる人材が広く求められている。そこで国際交流科では、高度人材としてグローバルにその存在感を大いに発揮できる人材を目指している。そのうえで、語学力を高めることからはじめ、観光サービスの各業界で必要とされる技術、就労するにふさわしい知識とマインドの習得を卒業条件としている。

●語学力の習得

仕事の場面で意思疎通を図るために使用するのは「言語」であるため、演習やロールプレイングにより、円滑に業務を行うことができるよう日本語・英語といった語学を使いこなす力を習得することができる。

●知識・技術の習得

観光サービス業界で必要とされる基礎的な知識と実際に現場で行われる技能を実際の実務経験のある教員から体系的に学ぶことで、実際の現場において実践できる技術を取得できる。

●マインド力の習得

お客様への考え方や職場に必要な心構えなどを学ぶことで、国や地域によって違う文化や考え方を受け入れ、相手の立場に立って物事を考えることができる精神を育むことができる。